



で埋め、また、天井の隙間をトタン製の廃材を隙間の形状に合致するように成形、固定し、鶏舎へのネズミの侵入経路となり

近年の養鶏業界は、経営や社会生活に大きな悪影響をもたらす高病原性鳥インフルエンザなどの伝染病の脅威にさらされています。特に鶏舎内へのネズミの侵入は、病原ウイルスが持ち込まれる原因の一つであり、侵入防止には鶏舎の屋根や壁面などの侵入口となる隙間をなくす必要があります。

そこで、セミウインドレス鶏舎におけるネズミ侵入防止対策を、しっくいと廃材を用いて、効果について検討しました。

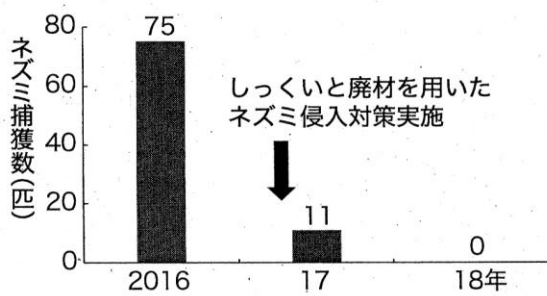
2017年4～5月にかけてネズミの捕獲数が増加したセミウインドレス鶏舎において、屋根と側面の隙間をしっくい塗装

セミウインドレス鶏舎

しっくいと廃材使い ネズミ侵入防止対策

うる隙間を埋めたところ、鶏舎でのネズミ捕獲数は減少しました(図)。セミウインドレス鶏舎144平方メートル規模に要した作

セミウインドレス鶏舎でのネズミ捕獲数推移



業時間は、作業者1人で7時間程度。材料費や労務費を合わせたコストは、9000円程度でした。

以上の結果から、しっくい塗装とトタン製の廃材を用いてセミウインドレス鶏舎の隙間を埋めることで、低コストにネズミ侵入防止対策ができることが分かりました。

(畜産研究部門 小家畜・環境研究室 研究員 松永将伍)